

2026 年度兵庫医科大学大学院

学 生 募 集 要 項

看護学研究科 看護学専攻

博士前期課程・博士後期課程

 兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学 建学の精神

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目次

●入学試験日程・・ p.1

<博士前期課程>

●アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）・・・・・・・・ p.2
●出願概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.3
●試験概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.5
●合格発表・入学手続および学費について・・・・・・・・ p.6
●入学資格申請について・・・・・・・・・・・・・・・・ p.7
●看護学研究科 博士前期課程 概要・・・・・・・・ p.8

<博士後期課程>

●アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）・・・・・・・・ p.12
●出願概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.13
●試験概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.15
●合格発表・入学手続および学費について・・・・・・・・ p.16
●入学資格申請について・・・・・・・・・・・・・・・・ p.17
●看護学研究科 博士後期課程 概要・・・・・・・・ p.18

<共通事項>

●試験時間中の注意事項・対応・不正行為について・・・・・・・・ p.21
●試験会場アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・ p.23

【出願書類一式】

本学ホームページよりダウンロードの上、両面印刷にてご使用ください。

兵庫医科大学ホーム>学部・大学院>大学院>入学案内（大学院）>大学院入学試験 募集要項

<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/graduate/admission/requirements/>



個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施（出願処理・試験実施）②合格発表③入学手続および、これらに付随する業務以外には使用しません。

その他、個人情報保護に関する法規に基づき、厳重なセキュリティー対策を施します。

入学試験日程

●事情により入試日程に変更が生じる場合は、ホームページ上でお知らせします。

I 期

募集人員 博士前期課程 : 8名

博士後期課程 : 2名

<日程>

2025年8月	9月	10月			
8/4(月)~21(木) ← 入学資格審査申請期間 →	8/29(金) ● 審査結果通知	9/4(木)~12(金) ← 出願期間 →	9/27(土) ● I期入学試験	10/8(水) ● 合格発表10時	10/9(木)~20(月) ← 入学手続期間 →

※ I期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

II 期

募集人員 博士前期課程 : 若干名

博士後期課程 : 若干名

<日程>

12月	2026年1月	2月			
12/1(月)~8(月) ← 入学資格審査申請期間 →	12/16(火) ● 審査結果通知	12/24(水)~1/8(木) ← 出願期間 →	1/24(土) ● II期入学試験	2/4(水) ● 合格発表10時	2/5(木)~16(月) ← 入学手続期間 →

< 博士前期課程 >

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

看護学研究科は、建学の精神に則した看護学に関する課程を修め、生命と人権を尊重し、医療・保健・福祉及び社会の変動に対応し、創造的かつ科学的に看護が実践できる能力をもち、人々の健康と quality of life の向上及び看護学の発展に寄与できる高度専門職業人、研究者、教育者、管理者として将来の社会に貢献できる資質と能力を備えた人物を求めます。

【求める人物像】

1. 看護専門職者として高度看護実践・看護学の発展に貢献する意欲を有する人
2. 志望する専門分野に必要な基礎的知識と技術を有する人
3. 国際的視野に立ち、柔軟な発想並びに論理的思考で課題を探求する姿勢を有する人
4. 主体的に学び、目標に向かって邁進できる人
5. 倫理的な感受性と想像力をもって行動できる人

【選抜方式】

専門科目、外国語の筆記試験及び面接試験を総合的に判定します。

1. 専門科目：志望する分野の専門的知識と専門分野の動向と現状の理解と課題を明確にできる能力を判定します。
2. 外国語：最新の知見を各種論文から読み取るための能力を判定します。
3. 面接：志望動機、学修準備状況、自主性、学修意欲、心構えを判定します。

募集人員

- [I期] 8名
- [II期] 若干名

出願資格

次の①を満たし、②以下のいずれかに該当する者

- ①看護師・保健師・助産師の免許のいずれかを有する者(入学日前月の末までに免許取得見込みである者を含む)
- ②大学を卒業した者(入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む)
- ③大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む)
- ④外国において学校教育における16年の課程を修了した者(入学日前月の末までに修了見込みである者を含む) ※外国においては16年ではない場合があるので、別途入学資格審査の対象となります。
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者(入学日前月の末までに修了見込みである者を含む)
- ⑥文部科学大臣の指定した者
- ⑦研究科において、個別の入学資格審査により、第2号に定める者と同等以上の学力があると認められた者で、入学日前月の末までに22歳に達した者

※出願資格④⑦により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

→対象者はP.7へ

出願概要

出願期間

I 期：2025 年 9 月 4 日（木）～9 月 12 日（金）【必着】

II 期：2025 年 12 月 24 日（水）～2026 年 1 月 8 日（木）【必着】

- 出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び年末年始(2025 年 12 月 27 日(土)～2026 年 1 月 4 日(日))を除く平日 9：00～17：00 とします。

出願方法

出願書類をとりまとめ、角 2 の封筒に「封筒貼付用宛先用紙(本学 HP よりダウンロード)」を貼付し、必要事項を記入の上、「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

受験希望分野の担当教員との事前相談

- 出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡をとり、博士前期課程において取り組みたい研究内容について相談してください。その場合、担当教員のメールアドレス（P.11）を参照し、教員と直接メールにて連絡をとってください。
- 長期履修制度については担当教員に相談のうえ、「長期履修申請書（本学 HP よりダウンロード）」を出願書類に同封してください。

出願上の留意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- 一旦提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類の受理後、受験票を発送します。試験日の 2 日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に連絡してください。

身体的に支障または障がいをもつ者の出願

身体的に支障または障がいをもつ、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の 1 か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を提出していただく場合があります。

出願書類等

<共通の必要書類>

必 要 書 類	摘 要
A 入学願書	本学 HP（看護学研究科）からダウンロード
B 志望理由書	
成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し、厳封*したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。
卒業、修了（見込）証明書	※学位授与機構から大学卒業者と同等の能力を有すると認められ、学士の学位を授与された者は学位証明書のみ提出すること。（成績証明書は不要）
免許証の写し	看護師、保健師、助産師の中から取得しているもの。 ※A4 サイズで提出してください。
受験票・名票	本学 HP（看護学研究科）からダウンロード 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真（縦 4 cm×横 3 cm、上半身、正面、脱帽、無背景）を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、所定の欄に貼り付けてください。
入学検定料	30,000 円（振込明細書の写しを提出） ※出願期間の 2 週間前より振込可能。 ※出願期間内に必ず受験者本人名義で振込ください。 （手数料本人負担） ※振込依頼人名の前に「インケンテイ」と入力してください。 （例）「インケンテイヒョウゴタロウ」 金融機関：三井住友銀行 支店名：西宮支店 預金種別：普通預金 口座番号：8899641 ヒョウゴイカダイガク コウベシンニューセイガクノウキングチ 口座名義：兵庫医科大学 神戸新入生学納金口
返信用宛名用紙	本学 HP（看護学研究科）からダウンロード 郵便番号、住所、氏名を記入したもの（3 通分）。 ※入学試験合格者に対して、入学手続書類等を発送するために使用します。
受験票返信用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（普通料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。

・厳封*：偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

<該当者のみ提出>

必 要 書 類	摘 要
長期履修申請書	教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。
BP 履修証明書の写し	本学（旧 兵庫医療大学含む）の職業実践力育成プログラム（BP）を修了した者のみ提出すること。

試験概要

試験日

I 期：2025 年 9 月 27 日（土）

II 期：2026 年 1 月 24 日（土）

※ I 期のみ、台風等の自然災害や、やむを得ない事情により実施できない場合は、試験日の翌日（予備日）に実施します。当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、試験日の前日 15 時までに本学ホームページにて通知します。

試験会場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

※試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため、公共の交通機関を利用してください。

選抜方法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	10:00～11:00 (60 分)
専門科目	11:30～12:30 (60 分)
面接	13:20～

※外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1 冊の持ち込みを認めます。

試験当日の注意事項

1. 受験室への入室及び遅刻

- (1) 受験室の配置は試験当日に試験会場にて通知します。悪天候等の交通機関への影響を十分留意し、試験開始時刻に遅れないよう、特に注意してください。
- (2) 試験会場周辺の公共交通機関の乱れや遅れが生じ、試験当日、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を変更（繰り下げる等）することがあります。試験開始時刻に変更がある場合については、本学ホームページでお知らせします。ただし、このことに伴う受験者の不利益について本学は責任を負いません。
- (3) いかなる理由があっても、追試験・再試験は実施しません。
- (4) 受験室へは試験開始 15 分前までに入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に申し出てください。
- (6) その他の注意事項を P.21 以降に記載していますので必ず確認してください。

2. 昼食

昼食及び飲料が必要な場合は、各自持参してください。

3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患して治癒していない者は、他の受験生や試験監督者に感染が拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。

該当する場合、あるいは該当するかどうかわからない場合は、試験当日の朝 8 時までに神戸教学課 大学院係 (daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp) までご連絡ください。

合格発表・入学手続および学費について

合格発表

I 期：2025 年 10 月 8 日（水） 10 時

II 期：2026 年 2 月 4 日（水） 10 時

- 本学ホームページに合格者の受験番号を掲示します。
- 学内掲示は行いません。
- 合格者には合格通知書および入学手続書類を簡易書留速達郵便で発送します。
- 不合格者には通知は行いません。
- 本学への電話・郵便等による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続等

1. 入学手続期間

I 期：2025 年 10 月 9 日（木）～10 月 20 日（月）【必着】

II 期：2026 年 2 月 5 日（木）～ 2 月 16 日（月）【必着】

※入学手続期間中に手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

2. 手続方法

入学手続期間中に入学金および授業料、教育充実費（前期分）を所定の振込依頼書で納入してください。また、入学手続書類については、合格通知書に同封しますので上記手続期間内までに届くようにしてください。

3. 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学含む）出身者および学校法人兵庫医科大学の教職員は、入学金を免除します。

※後期分の授業料および教育充実費は、入学年度の 10 月以降に納付していただくことになります。

※長期履修制度の許可を受けた者には、履修年限に応じた金額を通知します。

4. 入学辞退をする場合

入学辞退を申し出て 2026 年 3 月 31 日(火)午後 5 時までに所定の辞退届を提出した者に限り、授業料および教育充実費（入学金は除く）の返還を請求することができます。

ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類および入学金、授業料、教育充実費（前期分）は一切返還しません。

既修得単位認定制度について

この制度は、本学が教育上有益と認めるときに、学生が入学する前の大学院における既修得単位（科目等履修生等および本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）の地域在宅看護実践力育成プログラム（大学院開講科目に限る）として修得した単位を含む。）について、本学において修得した単位として認める制度です。ただし、申請時から遡って 4 年以内に修得した授業科目が対象となり、この制度は入学時にのみ適用されますので全ての認定希望科目を一括申請してください。希望者は 2026 年 2 月 27 日（金）までに必要書類を揃えて申請してください。

入学資格申請について

個別の入学資格審査を希望する者（出願資格④⑦）は、次の必要書類を揃えて申請してください。

ただし、本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）を修了した者については、あらかじめ出願資格があるものと認め、個別の入学資格審査の申請は不要とします。

必要書類

必 要 書 類	摘 要
<input type="checkbox"/> 入学資格審査申請書	本学 HP（看護学研究科）からダウンロード
免許証の写し	看護師、保健師、助産師の中から取得しているもの。 ※A4 サイズで提出してください。
入学資格審査結果通知用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（書留速達料金）を貼り、通知を確実に受け取れる郵便番号、住所、氏名を記入してください。

申請期間

I 期：2025 年 8 月 4 日（月）～ 8 月 21 日（木）【必着】

II 期：2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 8 日（月）【必着】

- 申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び本学神戸キャンパス夏季一斉休暇期間(2025 年 8 月 7 日(木)～8 月 15 日(金))を除く平日 9：00～17：00 とします。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

認定結果の通知

I 期：2025 年 8 月 29 日（金）

II 期：2025 年 12 月 16 日（火）

※審査の結果は、上記の日程に申請者へ通知（発送）します。

看護学研究科 博士前期課程 概要

看護学研究科は、下記の能力を身に付けた人材の育成を目標とします。

1. 保健・医療・福祉の場で行う看護実践の科学的根拠と理論を修得し、看護実践に応用する能力を育成します。
2. 人々の尊厳を護り人間性豊かな看護専門職者として、看護学の専門的知識と技術に立脚し、先駆的・創造的に高度看護実践できる能力を育成します。
3. 看護現象を科学的に解明する看護学の教育・研究能力を育成します。

教育課程

看護学研究科では、看護学基礎研究領域と看護学課題研究・高度実践領域（CNS）の2つの柱で構成されています。看護学基礎研究領域では4分野13特定分野から構成されています。

【看護学基礎研究領域】

.....基礎看護学分野.....

●基礎看護学

- ①看護の方向性を導く看護理論、看護実践の基盤を支える倫理観と人間相互関係、および科学的根拠（生理学的検証）に基づいた看護技術の検証。
- ②看護の専門性に基づく技術に関する研究（皮膚排泄ケア・感染制御）など、看護実践を踏まえた基礎的研究能力を修得します。

●看護教育学

看護教育を基礎教育、卒後教育、継続教育という視点からとらえ、看護教育に関する諸理論と概念の理解を基に、その本質を探究し、課題を見極めていきます。看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境づくり、教育方法の有効性等に関する知識と技術を追求し、看護教育における基礎的研究能力を修得します。

●看護管理学

看護管理学とは、看護サービス提供のための資源と環境をどう“うまく扱うか”を探究する学問です。大学院では、人材育成やキャリア開発、労働条件・労働環境、リーダーシップとフォロワーシップ、チームワークや多職種連携、さらに医療経済・政策の仕組み等々の学習を土台に、よりよい看護サービス提供に役立つ知見を探究します。これらを通じて、研究「する」能力と研究を「使う」能力、そしてアカデミックな視座と分析力に支えられたマネジメントの実践力を育成します。

.....療養支援看護学分野.....

●急性看護学

クリティカルな状況にある患者・家族の健康問題や倫理問題を探求します。患者の生命の維持・回復、苦痛の緩和、セルフケア能力の回復、QOLの向上を目的とした看護援助技法、家族への支援などを含む専門的な看護を提供できる看護実践能力を育成します。また、クリティカルな状況にある患者・家族への新しい看護援助技法の構築、あるいは看護の質向上に貢献できる知見を見いだすための研究能力を育成します。

●がん看護学

がんとともに生きるサバイバーとその家族が最適な健康状態を維持するための課題を見極め、それを解決するための看護実践や保健医療福祉のあり方、チームでの看護の役割を科学的に探究します。

がん看護の基盤となる概念・理論に関する知識や諸研究、がんの病態・診断・治療に関する最新の知見を学修します。また、臨床現場の課題や疑問に関するディスカッションやフィールドワークから、がん看護領域における研究テーマを絞りこみ、自らの力で看護研究を実践する力を養います。

●慢性看護学

慢性病とともに生きる人とその家族が最適な健康状態を維持するための課題を見極め、それを解決するための看護実践や保健医療福祉のあり方を科学的に探究します。

慢性看護の基盤となる概念・理論に関する知識や諸研究の学修、臨床現場の課題や疑問に関するディスカッションやフィールドワークから、研究テーマを絞りこみ、自らの力で看護研究を実践する力を養います。

●精神看護学

精神障がい者は精神疾患と疾患に起因する生活障害を抱え、精神障がい者に対する支援では、入院患者への療養支援から地域社会における生活支援までも含む幅広い専門的支援が求められています。そこでセルフケア理論に基づく包括的アセスメント、教育的介入方法等に関する幅広い知識を身につけ、精神看護学分野の専門家として精神障がい者自身の社会復帰過程への主体的参加を促進する支援において有用な実践能力を育成します。

.....家族支援看護学分野.....

●小児看護学

子どもとその家族を取り巻いている社会状況や生活を理解し、子どもが示す健康状態から起因する心身の反応をアセスメントする方法を探究します。あわせて慢性疾患などの健康障害を持つ子ども、親、きょうだいが内包している健康問題や課題、あるいは不適切な親子関係や現在の子育てにおける課題を解決するための看護支援について実証的な研究を行います。

●母性看護学

女性のライフサイクル各期を中心にした健康支援について、疾病中心の医療と看護の観点に留まらず、文化的、歴史的、社会的背景も勘案した健康課題を探究します。また、女性のリプロダクティブ・ヘルス/ライツを根幹に据えて、ヘルスプロモーションや Well-being 等の様々な視点から看護介入モデルを学修し、実践的な研究も行います。

●助産学

出産を取り巻く環境の歴史の変遷を概観し、女性のもつ生殖の性とジェンダーについての理解を深めると共に、出産の医学的管理を誘引した諸政策についても探求します。そして女性の多様な性のあり方と価値観を理解し、様々な女性と家族の健康に関する諸問題について、Evidence-Based Health Care (EBHC) を用いた解決方法の基礎的能力を育成します。また国際的な視点を基に、助産学領域の世界的な研究の流れも学修し、実践的な研究を行います。

.....生活支援看護学分野.....

●老年看護学

加齢の変化や疾患・障がいをもつ生活者として高齢者をとらえ、高齢者の健康問題や高齢者を取りまくケアシステムのあり方、倫理的問題についてアセスメントし、高齢者が健康的な生活を維持できるよう、老年看護に必要な概念や理論、健康生活評価方法等を修得し、高度な専門的援助を実践し、また看護方法の研究・開発を行う能力を備えた人材を育成します。

●地域看護学

地域社会の個人、家族、集団、コミュニティ、組織を対象に、顕在・潜在している健康課題の解決のための支援について探求します。

また、地域で生活する人々を対象とした地域看護支援技術の開発と評価方法について実践的な研究を行います。

●在宅看護学

在宅看護の基盤となる制度や理論および概念・看護モデルなどを学修します。その上で、在宅療養者および介護家族の健康生活の向上、在宅看護実践の質的改善、介護家族への支援方略、在宅ケアシステムの構築など、在宅看護の知識体系の発展に寄与する知見を探究します。在宅看護領域における臨床疑問や研究課題を明確化し、科学的プロセスを踏まえて研究していく能力を育成します。

【看護学課題研究・高度実践領域(CNS)】

●急性・重症患者看護専門看護師分野

クリティカルな状況にあり複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族や集団を対象に、先進医療に対応した高度な看護実践を行うための看護介入方法を理論的かつ実践的に探究する分野です。特に、クリティカルな状況にある人間を総合的にとらえるキュアとケアの融合による高度な知識・技術、個人・家族を中心とした治療環境を総合的に管理するために必要な知識を学修するとともに、専門看護師として役割を果たすための実践能力を養います。

●がん看護専門看護師分野

がんとともに生きるサバイバーとその家族が最適な健康状態を維持するための課題を見極め、それを解決するための看護実践や保健医療福祉のあり方、チームでの看護の役割を科学的に探究します。

がん看護の基盤となる概念・理論に関する知識や諸研究、がんの病態・診断・治療に関する最新の知見を学修します。がん看護専門看護師の役割（実践、相談、調整、倫理調整、教育）に関する学習と実習を通して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための卓越した技術と問題解決能力を修得します。また、臨床現場の課題や疑問に関するディスカッションやフィールドワークから、がん看護領域の実践現場に活用できる研究能力を養います。

授業科目一覧
看護学研究科看護学専攻(博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択必修	自由
共通科目 (修士・博士前期課程)	医療倫理学特論	1前		1	
	先進医療支援特論	1前		1	
	医療統計学特論	1後		1	
	小計(3)科目	—		3	
看護学共通科目	A	看護教育論	1前	2	
		看護倫理	1前	2	
		看護理論	1前	2	
		看護研究	1前	2	
		看護研究演習	1前	1	
		システムティックレビュー	1前	2	
		看護管理論	1後	2	
		看護政策論	1後	1	
		コンサルテーション論	1後	2	
		リサーチリテラシー	1前		1
	アガミッキングリッシュ入門	1前		1	
	B	アドバンスト・フィジカルアセスメント	1前	2	
		疾病・病態特論	1前	2	
		臨床薬理学・薬物治療特論	1後	2	
小計(14)科目		—	23	2	
看護学専門科目	基盤看護学分野	基礎看護学特論	1前	2	
		基礎看護学援助特論	1後	2	
		基礎看護学演習Ⅰ	1通	2	
		基礎看護学演習Ⅱ	1通	2	
		基礎看護学演習Ⅲ	1通	2	
		基礎看護学特別研究	2通	10	
		看護教育学特論	1前	2	
		看護教育学援助特論	1後	2	
		看護教育学演習Ⅰ	1通	2	
	看護教育学演習Ⅱ	1通	2		
	看護教育学演習Ⅲ	1通	2		
	看護教育学特別研究	2通	10		
	看護管理学特論	1前	2		
	看護管理学援助特論	1後	2		
	看護管理学演習Ⅰ	1通	2		
	看護管理学演習Ⅱ	1通	2		
	看護管理学演習Ⅲ	1通	2		
	看護管理学特別研究	2通	10		
小計(18)科目	—	60			
療養支援看護学分野	急性病態治療学	急性看護学特論	1前	2	
		急性看護学援助特論Ⅰ	1前	2	
		急性看護学援助特論Ⅱ	1後	2	
		急性看護学援助特論Ⅲ	1通	2	
		急性看護学演習ⅠA	1通	2	
		急性看護学演習ⅡA	1通	2	
		急性看護学演習ⅢA	2通	2	
		急性看護学演習ⅠB	1通	2	
		急性看護学演習ⅡB	1通	2	
		急性看護学演習ⅢB	2前	2	
		急性看護学実習Ⅰ	1後	2	
		急性看護学実習Ⅱ	2通	2	
	在宅看護学	急性看護学実習Ⅲ	2通	2	
		急性看護学実習Ⅳ	2通	4	
		急性看護学特別研究	2通	10	
		急性看護学課題研究	2通	2	
		がん病態治療学	1前	2	
		がん看護学特論	1前	2	
	がん看護学援助特論Ⅰ	1後	2		
	がん看護学援助特論Ⅱ	1後	2		
	がん看護学援助特論Ⅲ	2前	2		
	がん看護学演習ⅠA	1前	2		
	がん看護学演習ⅡA	1後	2		
	がん看護学演習ⅠB	1前	2		
がん看護学演習ⅡB	1後	2			
がん看護学演習Ⅲ	1後	2			
がん看護学実習Ⅰ	1後	2			
がん看護学実習Ⅱ	2通	2			
がん看護学実習Ⅲ	2通	2			
がん看護学実習Ⅳ	2通	2			
がん看護学実習Ⅴ	2通	2			
がん看護学特別研究	2通	10			
がん看護学課題研究	2通	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択必修	自由
看護学専門科目	療養支援看護学分野	慢性看護学特論	1前	2	
		慢性看護学援助特論	1後	2	
		慢性看護学演習Ⅰ	1通	2	
		慢性看護学演習Ⅱ	1通	2	
		慢性看護学演習Ⅲ	1通	2	
		慢性看護学特別研究	2通	10	
		精神看護学特論	1前	2	
		精神看護学援助特論	1後	2	
		精神看護学演習Ⅰ	1通	2	
		精神看護学演習Ⅱ	1通	2	
	精神看護学演習Ⅲ	1通	2		
	精神看護学特別研究	2通	10		
	小計(46)科目	—		126	
	家族支援看護学分野	小児看護学特論			2
		小児看護学援助特論			2
		小児看護学演習Ⅰ			2
		小児看護学演習Ⅱ			2
		小児看護学演習Ⅲ			2
		小児看護学特別研究			10
		母性看護学特論			2
		母性看護学援助特論			2
		母性看護学演習Ⅰ			2
		母性看護学演習Ⅱ			2
	母性看護学演習Ⅲ			2	
母性看護学特別研究			10		
助産学特論			2		
助産学援助特論			2		
助産学演習Ⅰ			2		
助産学演習Ⅱ			2		
助産学演習Ⅲ			2		
助産学特別研究			10		
小計(18)科目	—		60		
生活支援看護学分野	老年看護学特論	1前	2		
	老年看護学援助特論	1後	2		
	老年看護学演習Ⅰ	1通	2		
	老年看護学演習Ⅱ	1通	2		
	老年看護学演習Ⅲ	1通	2		
	老年看護学特別研究	2通	10		
	地域看護学特論	1前	2		
	地域看護学援助特論	1後	2		
	地域看護学演習Ⅰ	1通	2		
	地域看護学演習Ⅱ	1通	2		
地域看護学演習Ⅲ	1通	2			
地域看護学特別研究	2通	10			
在宅看護学特論	1前	2			
在宅看護学援助特論	1後	2			
在宅看護学演習Ⅰ	1通	2			
在宅看護学演習Ⅱ	1通	2			
在宅看護学演習Ⅲ	1通	2			
在宅看護学特別研究	2通	10			
小計(18)科目	—		60		
合計(117)科目			0	332	2

担当教員の連絡先

事前相談は下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

	看護学 基礎研究領域	看護学課題研究・ 高度実践領域 (CNS)	担当教員	連絡先
分野	特定分野	特定分野		
基盤看護学	基礎看護学		土田 敏恵 鈴木 みゆき 荻野 待子 三谷 理恵	tsuchida@hyo-med.ac.jp mioka@hyo-med.ac.jp maogino@hyo-med.ac.jp ri-mitani@hyo-med.ac.jp
	看護教育学		2026年度 着任予定教員	daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp
	看護管理学		林 千冬	ch-hayashi@hyo-med.ac.jp
療養支援看護学	急性看護学	急性・重症患者看護	森 一恵 築田 誠	kz-mori@hyo-med.ac.jp ma-tsukuda@hyo-med.ac.jp
	がん看護学	がん看護	府川 晃子 橋本 理恵子	fukawa@hyo-med.ac.jp ri-hashimoto@hyo-med.ac.jp
	慢性看護学		神崎 初美 井上 満代	kanzaki@hyo-med.ac.jp inoue@hyo-med.ac.jp
	精神看護学		藤本 浩一 石田 絵美子 向畑 毅	hr-fujimoto@hyo-med.ac.jp ei-ishida@hyo-med.ac.jp tsu-mukaihata@hyo-med.ac.jp
家族支援看護学	小児看護学		石原 あや 藤井 加那子	a-ishihara@hyo-med.ac.jp kanako_fujii@hyo-med.ac.jp
	母性看護学		西村 明子 川内 恵美子	nisimura@hyo-med.ac.jp kawauchie@hyo-med.ac.jp
	助産学		田村 康子	ya-tamura@hyo-med.ac.jp
生活支援看護学	老年看護学		今野 理恵 加藤 泰子	ri-konno@hyo-med.ac.jp ya-kato@hyo-med.ac.jp
	地域看護学		廣金 和枝	ka-hirokane@hyo-med.ac.jp
	在宅看護学		堀口 和子 鈴木 千枝	khoriguchi@hyo-med.ac.jp ysuzuki@hyo-med.ac.jp
基礎			加藤 精一 澤井 英明 島 正之	katosi@hyo-med.ac.jp sawai@hyo-med.ac.jp shima-m@hyo-med.ac.jp

- 入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

< 博士後期課程 >

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

【求める人物像】

1. グローバルかつ学際的な視点から看護実践の場における課題を見出し、看護学の発展に寄与する研究に取り組むための基本的な学識と理解力を有している。
2. 国内外の看護研究者及び看護実践家と連携・協働するための学術的コミュニケーション能力を有し、臨床及び諸外国を含むコミュニティにおける医療の改善と質の向上への意欲を有している。
3. 看護実践の場における研究の推進、並びに研究成果を看護ケアに実装する変革への意欲を有している。
4. 次代を牽引する看護専門職者を指導する教育への意欲を有している。

【選抜方式】

専門科目、外国語の筆記試験及び面接試験を総合的に判定します。

1. 専門科目：専門の看護学領域における基本的な学識と理解力を判定します。
2. 外国語：国外の研究者、実践者と学術的コミュニケーションが可能な語学の素養を判定します。
3. 口述試験：国内外の研究者、実践者との協働への意欲と能力、研究の推進、実践の変革、及び後進育成への意欲、及び研究構想状況を総合的に判定します。

募集人員

- [I期] 2名
- [II期] 若干名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ①修士の学位又は専門職学位を有する者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ④我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ⑥文部科学大臣の指定した者
- ⑦研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前月の末までに24歳に達した者

※出願資格⑦により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

→対象者はP.17へ

出願概要

出願期間

I 期：2025 年 9 月 4 日（木）～9 月 12 日（金）【必着】

II 期：2025 年 12 月 24 日（水）～2026 年 1 月 8 日（木）【必着】

- 出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び年末年始(2025 年 12 月 27 日(土)～2026 年 1 月 4 日(日))を除く平日 9：00～17：00 とします。

出願方法

出願書類をとりまとめ、角 2 の封筒に「封筒貼付用宛先用紙(本学 HP よりダウンロード)」を貼付し、必要事項を記入の上、「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

受験希望分野の担当教員との事前相談

- 出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡を取り、博士後期課程において取り組みたい研究内容について相談してください。その場合、担当教員のメールアドレス（P.19～20）を参照し、教員と直接メールにて連絡をとってください。
- 長期履修制度については担当教員に相談のうえ、「長期履修申請書（本学 HP よりダウンロード）」を出願書類に同封してください。

出願上の留意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- 一旦提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類の受理後、受験票を発送します。試験日の 2 日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に電話をして指示を受けてください。

身体的に支障または障がいをもつ者の出願

身体的に支障または障がいをもつ、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の 1 か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を提出していただく場合があります。

出願書類等

<共通の必要書類>

必 要 書 類	摘 要
A 入学願書	本学 HP (看護学研究科) からダウンロード
B 志望理由書	
C 研究業績一覧	本学 HP (看護学研究科) からダウンロード ※入学資格審査申請時に提出済の場合は不要
D 研究計画書	本学 HP (看護学研究科) からダウンロード 博士後期課程において実施予定の研究テーマ・研究計画について 2,000 字程度で記入してください。
E 学位 (修士) 論文要旨 及び 学位 (修士) 論文の写し	本学 HP (看護学研究科) からダウンロード 修士の学位を有する者は、学位論文の要旨 (1,000 字程度) 及び学位論文の写し (投稿論文でも可) を提出してください。 出願時点で修士課程又は博士前期課程在籍中の者については、出願時点で整えられるもの (研究計画書等) を本研究科所定の用紙に記入し、提出してください。 出願資格⑦により出願する者は、学位 (修士) 論文に代わる研究論文の要旨及び研究論文の写しを提出してください。
成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し、厳封*したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。 ※学位授与機構から修士の学位を授与された者は学位証明書のみ提出すること。(成績証明書は不要)
卒業、修了 (見込) 証明書	
受験票・名票	本学 HP (看護学研究科) からダウンロード 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真 (縦 4 cm×横 3 cm、上半身、正面、脱帽、無背景) を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、所定の欄に貼り付けてください。
入学検定料	30,000 円 (振込明細書の写しを提出) ※出願期間の 2 週間前より振込可能。 ※出願期間内に必ず受験者本人名義で振込ください。 (手数料本人負担) ※振込依頼人名の前に「インケンテイ」と入力してください。 (例) 「インケンテイヒョウゴタロウ」 金融機関 : 三井住友銀行 支店名 : 西宮支店 預金種別 : 普通預金 口座番号 : 8899641 ヒョウゴイカダイガク コウベシンニューセイガクノウキングチ 口座名義 : 兵庫医科大学 神戸新入生学納金口
返信用宛名用紙	本学 HP (看護学研究科) からダウンロード 郵便番号、住所、氏名を記入したもの (3 通分)。 ※入学試験合格者に対して、入学手続書類等を発送するために使用します。
受験票返信用封筒	定型封筒 (長形 3 号) に郵便切手 (普通料金) を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。

・厳封* : 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

<該当者のみ提出>

必 要 書 類	摘 要
免許証の写し	看護師、保健師、助産師の免許を取得している者は提出すること。 ※A4 サイズで提出してください。
長期履修申請書	教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。

試験概要

試験日

I 期：2025 年 9 月 27 日（土）

II 期：2026 年 1 月 24 日（土）

※ I 期のみ、台風等の自然災害や、やむを得ない事情により実施できない場合は、試験日の翌日（予備日）に実施します。当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、試験日の前日 15 時までに本学ホームページにて通知します。

試験会場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

※試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため、公共の交通機関を利用してください。

選抜方法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	10:00～11:00 (60分)
専門科目	11:30～12:30 (60分)
面接	13:20～

※外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1冊の持ち込みを認めます。

試験当日の注意事項

1. 受験室への入室及び遅刻

- (1) 受験室の配置は試験当日に試験会場にて通知します。悪天候等の交通機関への影響を十分留意し、試験開始時刻に遅れないよう、特に注意してください。
- (2) 試験会場周辺の公共交通機関の乱れや遅れが生じ、試験当日、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を変更（繰り下げる等）することがあります。試験開始時間に変更がある場合については、本学ホームページでお知らせします。ただし、このことに伴う受験者の不利益について本学は責任を負いません。
- (3) いかなる理由があっても、追試験・再試験は実施しません。
- (4) 受験室へは試験開始 15 分前までに入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に申し出てください。
- (6) その他の注意事項を P.21 以降に記載していますので必ず確認してください。

2. 昼食

昼食及び飲料が必要な場合は、各自持参してください。

3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患して治癒していない者は、他の受験生や試験監督者に感染が拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。

該当する場合、あるいは該当するかどうかわからない場合は、試験当日の朝 8 時までに神戸教学課 大学院係 (daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp) までご連絡ください。

合格発表・入学手続および学費について

合格発表

I 期：2025 年 10 月 8 日（水） 10 時

II 期：2026 年 2 月 4 日（水） 10 時

- 本学ホームページに合格者の受験番号を掲示します。
- 学内掲示は行いません。
- 合格者には合格通知書および入学手続書類を簡易書留速達郵便で発送します。
- 不合格者には通知は行いません。
- 本学への電話・郵便等による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続等

1. 入学手続期間

I 期：2025 年 10 月 9 日（木）～10 月 20 日（月）【必着】

II 期：2026 年 2 月 5 日（木）～ 2 月 16 日（木）【必着】

※入学手続期間中に手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

2. 手続方法

入学手続期間中に入学金および授業料、教育充実費（前期分）を所定の振込依頼書で納入してください。また、入学手続書類については、合格通知書に同封しますので上記手続期間内までに届くようにしてください。

3. 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 250,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学含む）出身者および学校法人兵庫医科大学の教職員は、入学金を免除します。

※後期分の授業料および教育充実費は、入学年度の 10 月以降に納付していただくことになります。

※長期履修制度の許可を受けた者には、履修年限に応じた金額を通知します。

4. 入学辞退をする場合

入学辞退を申し出て 2026 年 3 月 31 日（火）午後 5 時までに所定の辞退届を提出した者に限り、授業料および教育充実費（入学金は除く）の返還を請求することができます。

ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類および入学金、授業料、教育充実費（前期分）は一切返還しません。

既修得単位認定制度について

この制度は、本学が教育上有益と認めるときに、学生が入学する前の大学院における既修得単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）について、本学において修得した単位として認める制度です。ただし、申請時から遡って 4 年以内に修得した授業科目が対象となり、この制度は入学時にのみ適用されますので全ての認定希望科目を一括申請してください。希望者は 2026 年 2 月 27 日（金）までに必要書類を揃えて申請してください。

入学資格申請について

個別の入学資格審査を希望する者（出願資格⑦）は、次の必要書類を揃えて申請してください。

必要書類

必 要 書 類	摘 要
Z 入学資格審査申請書	本学 HP（看護学研究科）からダウンロード
C 研究業績一覧	本学 HP（看護学研究科）からダウンロード
入学資格認定審査結果通知用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（書留速達料金）を貼り、通知を確実に受け取れる郵便番号、住所、氏名を記入してください。

申請期間

I 期：2025 年 8 月 4 日（月）～ 8 月 21 日（木）【必着】

II 期：2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 8 日（月）【必着】

- 申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び本学神戸キャンパス夏季一斉休暇期間(2025 年 8 月 7 日(木)～8 月 15 日(金))を除く平日 9：00～17：00 とします。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

認定結果の通知

I 期：2025 年 8 月 29 日（金）

II 期：2025 年 12 月 16 日（火）

※審査の結果は、上記の日程に申請者へ通知（発送）します。

看護学研究科 博士後期課程 概要

看護学研究科は、下記の能力を身に付けた人材の育成を教育目標とします。

研究成果を看護ケアに実装化し変革力を有する看護実践者、研究者、教育者として、グローバルかつ学際的な視点から施設やコミュニティにおける看護実践に関する課題を見出し、看護学及び関連領域の諸理論やエビデンスから分析を深め、看護実践の場において看護職者を含む医療専門職者及び看護研究者と連携・協働し、看護ケアを創生・発信できる能力を育成します。

授業科目一覧

看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)

科目区分	授 業 科 目	配当年次	単位数	
			必修	選択
基礎科目	看護科学研究論	1 前	2	
	理論看護学	1・2 前		1
	看護倫理学	1・2 前		1
	看護システム開発学	1・2 前		1
専門科目	看護ケア実践開発科学特講	1・2 前		1
	看護教育学特講	1・2 前		1
	政策・管理看護学特講	1・2 前		1
	高度実践開発看護学特講	1・2 前		1
	生活支援開発看護学特講	1・2 前		1
研究科目	特別研究Ⅰ	1 通	2	
	特別研究Ⅱ	2 通	2	
	特別研究Ⅲ	3 通	4	

担当教員の連絡先

事前相談は下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

分野	担当教員・連絡先	研究テーマ
看護実践開発科学分野	土田 敏恵 tsuchida@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 陰部ケア技術：質問紙調査・実験研究・介入研究によって皮膚保護オイルと泡状清拭料によるケア
	鈴木 みゆき mioka@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 看護の質向上に向けたケア開発・検証・評価（とくに自立性、安楽性について）
	2026年度着任予定教員 daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 看護学教育における実践的研究 看護における実践知 看護継続教育における省察的実践 成人学習理論を基盤にした看護教育方法の開発
	森 一恵 kz-mori@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> クリティカルな場面で患者が主体となるケアを分析・考案・実装
	府川 晃子 fukawa@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 治療期にあるがん患者の症状マネジメント 終末期にあるがん患者・家族への支援
	林 千冬 ch-hayashi@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 看護職養成 多職種連携 看護管理者による組織変革 ダイバシティ・マネジメント その他看護職の労働安全衛生を含む労働条件全般
	神崎 初美 kanzaki@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> リウマチ看護や災害看護研究及び質的・量的・介入研究など
	藤本 浩一 hr-fujimoto@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 精神科訪問看護の現場で発生する利用者からの暴力の現状と対策
	澤井 英明 sawai@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 骨系統疾患：希少疾患難病の疾患究明 出生前検査と着床前検査：医学的倫理的な取組 遺伝カウンセリング：研究の基本的な視点
	石原 あや a-ishihara@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 養育支援が必要な子ども・家族への子育て支援 低出生体重児・後期早産児の母親の子育ての経験
	西村 明子 nisimura@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 父親の産後うつ病の関連要因と支援方法 慢性疾患を有する女性へのプレコンセプションケア
	田村 康子 ya-tamura@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 開発途上国における産痛緩和ケアの習得支援を通じた出産ケアの質向上から肯定的な出産体験を増やし、母子の健康に寄与すること
	今野 理恵 ri-konno@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 認知症をもつ高齢者の意思決定 尊厳を守るケア 海外研究のレビュー 国際研究
	島 正之 shima-m@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の健康影響に関する疫学研究 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）
	廣金 和枝 ka-hiro Kane@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 保健師基礎教育における実習展開方法 実習プログラムと支援プラットフォームの開発 保健師と学校保健の協働の推進 など
堀口 和子 khoriguchi@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 多重介護を担う家族介護者への支援方略 独居高齢者のエンド・オブ・ライフ 高齢社会の介護課題と支援対策に関する研究 など 	

井上 満代 inoue@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 膠原病患者の療養生活に関する研究 ▪ 慢性疾患を有する患者の療養生活に関する研究
石田 絵美子 ei-ishida@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 精神科看護実践における現象学的研究 ▪ 精神疾患を抱える人々の日常と支援のあり方について
藤井 加那子 kanako_fujii@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 医療（特に処置や治療）を受ける子どもの、医療体験の受け止めや療養に関わる行動への向き合い方
川内 恵美子 kawauchie@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 助産師・看護師のワーク・エンゲイジメントに関する研究 ▪ 幼児期の包括的性教育に関する研究
加藤 泰子 ya-kato@hyo-med.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ▪ レビー小体型認知症がある人々の看護に関する研究 ▪ 「コグニサインの観察」に関する研究

- 入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

試験時間中の注意事項・対応・不正行為について

試験時間中の注意事項

- (1) 試験時間中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。また不正行為とみなされるような態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- (2) 試験会場及び受験室において、他の受験者に迷惑となるような行為は禁止します。
- (3) 受験票以外に試験時間中に机に置けるものは、鉛筆またはシャープペンシル（黒、「HB」、「B」程度）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のものを除く）、眼鏡および時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、手のひらサイズを超えるような大きなものは不可）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。なお、これらの筆記用具等の貸し出しは行いません。
- (4) 定規・コンパス・計算機（電卓等）及び計算/辞書機能等の付いた時計等の使用はできません。
- (5) 携帯電話・スマートフォン等の電子機器は入室前に電源を切り、かばんにしまっておいてください。これらを時計の代わりに使用することは認められません。時計はアラーム機能を解除しておいてください。
- (6) 原則としてウェアラブル端末を試験会場へ持ち込まないようにしてください。試験当日、誤ってウェアラブル端末を持ち込んだ場合、不正行為として取り扱う場合があります。
- (7) ハンカチ、ティッシュペーパー、ひざかけ、座布団、目薬、鼻薬等の使用を希望する者は、事前に監督者に申し出て許可を得てください。
- (8) 試験時間中の飲食（ガム・飴等を含む）はできません。
- (9) 英文字等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。（ロゴマーク、ワンポイントの柄程度は可）
- (10) 各科目とも、試験時間終了時刻まで退出できません。試験時間中に気分が悪くなった場合は、一時退室を許可することがありますが、その際に要した試験時間の延長は認めません。
- (11) 試験は本学が定めた時計により試験時間の管理を行います。また試験開始については、試験監督の判断により指示します。

試験実施に際しての対応

本学では、試験の実施に際して、公平で良好な受験環境を提供できるよう努めていますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 地震、大雪、洪水等の自然災害、火災、停電、その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、休憩時間の短縮、試験会場の変更等の措置をとることがあります。なお、それによって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- (2) 受験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いは、一切考慮しません。
- (3) 試験時間中に、日常的な生活騒音等（航空機、自動車、風雨、空調音、動物の鳴き声、周囲の受験者の咳・くしゃみ、鼻をすする音等）が発生した場合、特別な措置は原則として行いません。
- (4) 試験時間中に、監督者が試験実施上必要な指示、説明、巡回を行うことによって生じる音等に対して、特別な対応はとりません。
- (5) 試験時間中に万一、携帯電話や時計等の音や振動が発生し、発生源となるかばん等が特定できた場合は、持ち主の同意なしに監督者が持ち出し、入学試験実施本部にて保管することがあります。
- (6) 他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、受験の中止あるいは別室受験を指示する等の措置を講じることがあります。

不正行為について

以下に該当する行為は、不正行為です。不正行為を行った者は、その場で受験を中止し、退場していただきます。また、本学の当該年度の入学試験を全て無効とします。なお、入学検定料等は一切返還しません。

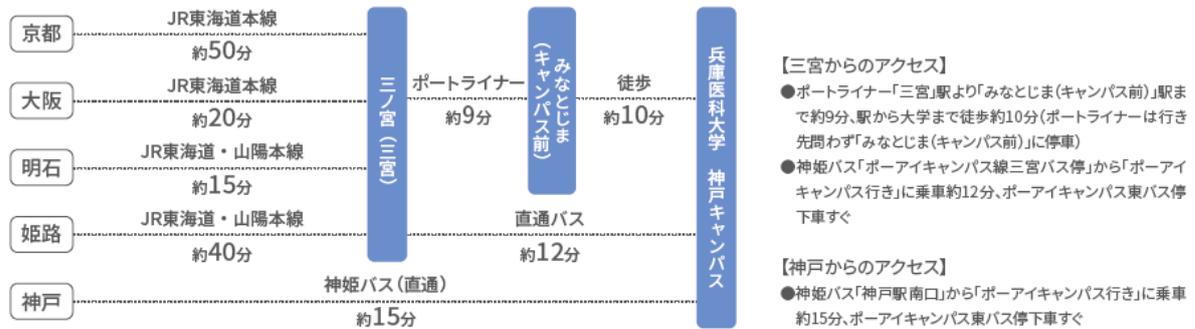
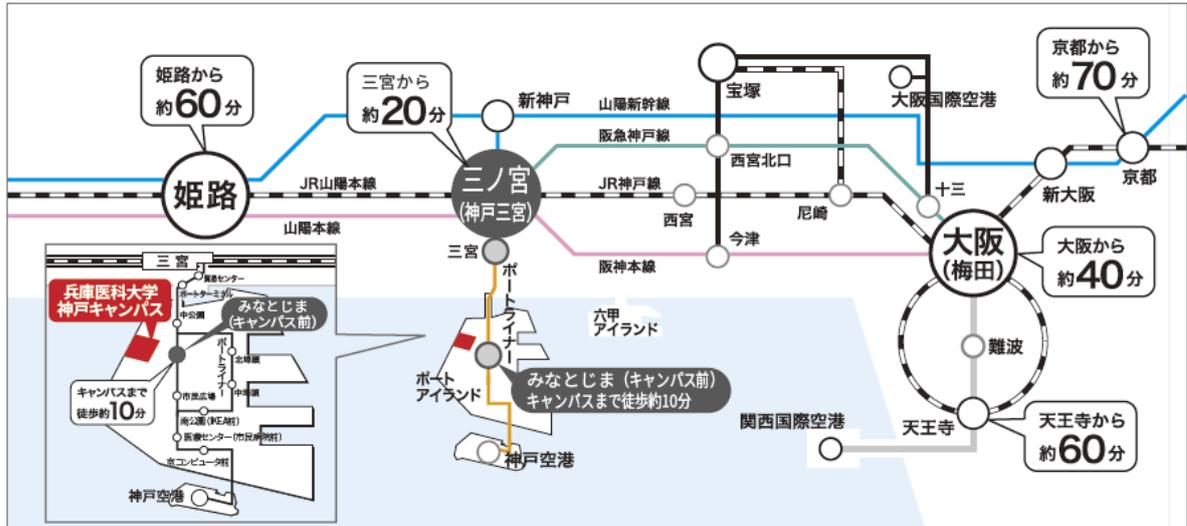
- (1) 解答用紙等へ故意に虚偽の記入をすること。(本人以外の受験番号・氏名を記入する等)
- (2) カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 試験時間中に、問題冊子・解答用紙を受験室から持ち出すこと。
- (5) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書やICレコーダー等の電子機器類を使用すること。(ストップウォッチ機能は使用できません)
- (7) 試験時間中に、定規等の補助具を使用すること。
- (8) 「解答を止めてください。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

また、不正行為の疑いがある以下に例示した(9)~(14)の行為の場合には、監督者が注意もしくは事情聴取することがあります。なお、その際に要した試験時間の延長は認めません。指示等に従わない場合は、不正行為とみなします。

- (9) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や電子辞書等の電子機器類、定規等の補助具をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- (10) 試験時間中に、携帯電話や時計等の音や振動を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- (11) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- (12) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (13) 試験会場において監督者等の指示に従わないこと。
- (14) その他、試験の公平性を損なうようなおそれのある行為をすること。

試験会場アクセス

本学へのアクセス



■周辺案内図

